

議 事 要 旨

区 分	摘 要
日 時	令和 6 年 5 月 15 日（水） 18：00～18：20
会 議 名	令和 6 年度 第 1 回手術部連絡協議会
場 所	日亜ホール White（大）
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	別紙のとおり
陪 席	別紙のとおり

議 事

(1) 稼働状況について

①手術室の稼働状況について

手術部川西助教より、資料 1-1～1-4 を基に報告があった。稼働率自体はここ数年で少し低めの値となっているが、件数自体は最高値となっており、迅速な手術を実施いただいた結果と考える。今後とも迅速な手術運営に協力いただきたい。

2022 年度から昨年度における月次別手術件数および年度別手術件数について、医科・歯科合計件数は目標の 7000 件を達成するのみならず、2022 年度よりも高い数値となっており、過去最高件数であった。

また、予定手術時間より 4 時間以上延長もしくは 150%以上延長した手術においては、インシデント報告の入力をお願いしている。各手術室の人員に全く余裕はなく、効率的な手術運営のためにも、各診療科内で手術時間に関する意思伝達を行い、予定手術時間の適正入力に協力いただきたい。

(2) その他

①術中使用インプラントの看護記録への記載に関して

手術部川西助教より、資料 2 を基に説明があった。元々、使用インプラントの看護記録への記載に関しては、手術運営に関するガイドラインに沿って開始したものであるが、使用インプラント数の増大に伴い、看護師の業務圧力が高まっているため、基本的には実施を中止したいと考えている。前回の連絡協議会では、一部診療科から公文書として記録しておくべきとの意見もあったため、今回のアンケートを実施した。

特に質問 5 に関して、「いいえ」と回答があった 3 つの診療科に、ロット番号等トレーサビリティを担保するために必要な情報は SPD などにより、電子的に記録されており、事務等へ問い合わせるとトレーサビリティは担保されることを情報提供したところ、記載継続希望のあった診療科に関しても、看護記録への記載の中止は構わないとの回答をいただいた。なお、持ち込みインプラント等、新しいものや全くロット番号管理がされていない特別な場合、看護上必要な項目に関しては、看護記録への記載を継続する。

本件について、各委員からの異論はなく、承認された。

高木センター長より、また何か問題があれば適宜相談いただきたいとコメントがあった。

②複数手術実施時に関する日勤時間内での予定手術実施依頼について

手術部川西助教より説明があった。本年度に入り、一部診療科における人員不足から、手術の斜め運営や複数列での運営が困難となり、予定手術を縦に繋げる運用が認められるようになってきている診療科がある。そのため、短時間手術ではあったが、手術の予定入力段階から、入室時間が時間外となる事例が散見されるようになった。これまではこのような場合であっても、診療科の人員に余裕がある場合は、手術室リーダーの采配により、空いている枠で日勤帯に実施することができたが、人員不足のためその運用も困難な場合があるようである。

ただ、手術部は複数手術を縦に繋ぐ場合は、手術終了が日勤帯に可能な限り収まるよう運用することを原

則としている。緊急手術の実施に支障が出る場合や、手術スタッフの確保が困難になる可能性が予想されるため、複数手術を縦に繋ぐ場合には、可能な限り終了時間が日勤帯を大幅に超過しないよう、協力いただきたい。また日勤帯での手術実施のため、柔軟な入室に対応いただけるようお願いしたい。

産科婦人科木内講師より、以下の意見があった。

帝王切開手術が多数あり、緊急ではないが近い日程で手術が決まることがあるが、担当できる医師が限られており、手術が重なることがある。現在火曜と木曜に手術日を空けていただいているが、人員不足で並列の手術は難しいため、他の曜日で帝王切開を入れてもらえる枠があれば、そこに入れていただけると日勤帯で終わることができると思う。可能であれば、配慮いただきたい。

手術部川西助教より、現在手術の調整を行っている医師から個別に相談し対応する旨の返答があり、術者次第で可能な限り分散して手術を行うことに協力いただけることとなった。

③既退職者の手術履きの廃棄および下駄箱の扉撤去に関して

手術部川西助教より、皆様の協力のもと、ロッカールームの入り口に散乱していた手術履きが大幅に減少し、下駄箱の扉も撤去した旨の報告があった。ただ、既退職者の手術履きは依然残っているため、可能な範囲で各診療科内で処理いただけるとありがたい。

④感染制御部より：2023 年度 針刺し・切創、皮膚・粘膜暴露報告について

後藤委員より、資料 3 を基に報告があった。2023 年度の手術部における報告数は針刺し・切創 28 件、皮膚粘膜暴露 3 件であり、昨年度の総数から大幅に増加した。これらの結果を考察し、今後の対策が示された。引き続き、針刺し・切創、皮膚・粘膜暴露予防に協力いただきたい。

【次回開催予定：令和 6 年 7 月 17 日（水）18：00～（日亜ホール White 大）】

2024年度 手術部連絡協議会委員名簿

※徳島大学病院手術部規則第 4条第2項に基づく

R6.5.15

所 属		委員氏名 (関係副科長・副部長)	出 席	代理者又は陪席者氏名	代理出席 又は陪席
手 術 部 部 長 * 第 1 号		高木 康志	○		
関 係 診 療 科 の 副 科 長 及 び 関 係 中 央 診 療 施 設 等 の 副 部 長 * 第 2 号 及 び 申 合 せ	循 環 器 内 科	若槻 哲三		川端 豊	
	血 液 内 科	藤井 志朗		曾我部 公子	○
	心 臓 血 管 外 科	北市 隆	○	山本 正樹	
	食 道 乳 腺 甲 状 腺 外 科	井上 聖也		井上 寛章	○
	呼 吸 器 外 科	鳥羽 博明			
	泌 尿 器 科	高橋 正幸		楠原 義人	○
	消 化 器 ・ 移 植 外 科	森根 裕二		柏原 秀也	○
	小 児 外 科 ・ 小 児 内 視 鏡 外 科	森 大樹			
	眼 科	四宮 加容		柳井 亮二	
	耳 鼻 咽 喉 科 ・ 頭 頸 部 外 科	佐藤 豪		近藤 英司	神村 盛一郎
	整 形 外 科	浜田 大輔		森本 雅俊	○
	皮 膚 科	村尾 和俊		仁木 真理子	○
	形 成 外 科 ・ 美 容 外 科	安倍 吉郎		峯田 一秀	美馬 俊介
	脳 神 経 外 科	島田 健司		高麗 雅章	
	麻 酔 科	角田 奈美		笠井 飛鳥	
	精 神 科 神 経 科 ・ 心 身 症 科	中瀧 理仁		山田 直輝	
	小 児 科	杉本 真弓	○	岡村 和美	
	産 科 婦 人 科	加地 剛		木内 理世	○
	歯 科 口 腔 外 科 （ 口 腔 内 科 ）	桃田 幸弘			
	歯 科 口 腔 外 科 （ 口 腔 外 科 ）	上杉 篤史	○	福田 直志	
	歯 科 口 腔 外 科 （ 歯 科 麻 酔 科 ）	高石 和美		西川 美佳	藤原 茂樹
	手 術 部	富山 芳信	○	川西 良典	○
	放 射 線 部 * 医 科	音見 暢一	○		
	放 射 線 部 * 歯 科	前田 直輝		水頭 英樹	○
	救 急 集 中 治 療 科	板垣 大雅		上野 義豊	
	輸 血 ・ 細 胞 治 療 部	曾我部 公子	○	藤井 志郎	
	安 全 管 理 部	大坂 朱美	○	山口 真理	
	感 染 制 御 部	後藤 さおり	○		
	物 流 セ ン タ ー	近藤 武	○		
副 看 護 部 長 * 第 3 号		原田 路可	○		
手 術 部 看 護 師 長 * 第 4 号		藤本 理恵子	○		
物 流 セ ン タ ー 副 看 護 師 長 * 第 4 号		(兼任 原田 路可)	—		—
手 術 部 副 看 護 師 長 * 第 5 号		池添 照代			
医 事 課 副 課 長 * 第 6 号		藤原 慶一			
ME 管 理 セ ン タ ー 臨 床 工 学 技 士 * 第 7 号		坂東 直紀	○		

陪席

予算管理係 係長
経営企画係 主任
医療支援係 係長
医療支援係 係員

有月 由依
友行 沙也香
高橋 久美子
川人 佑奈

(1) 稼働状況について

- ① 3 月分は報告済。4 月分は別紙参照。 【資料 1-1～1-5】

(2) その他

- ①術中使用インプラントの看護記録への記載に関するアンケート結果について 【資料 2】

- ②複数手術実施時に関する日勤時間内での予定手術実施依頼について

- ③既退職者の手術履きの廃棄および下駄箱の扉撤去に関して

- ④感染制御部より：2023 年度 針刺し・切創、皮膚・粘膜暴露報告について 【資料 3】
引き続き、針刺し・切創、皮膚・粘膜暴露予防にご協力をお願いします。

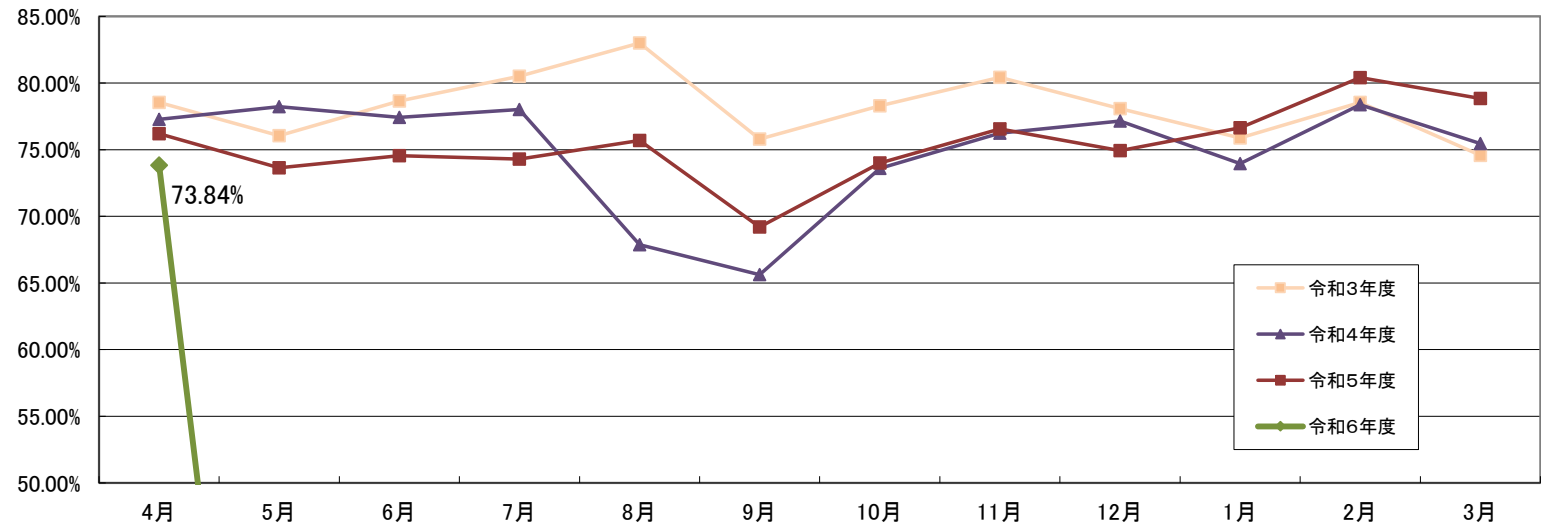
【次回開催予定：令和 6 年 7 月 17 日（水）18：00～ 日亜ホール White 大】

令和6年度 手術部連絡協議会委員名簿

※徳島大学病院手術部規則第4条第2項に基づく

所 属		委 員 氏 名 (関係副科長・副部長)
手術部部長 *第1号		高 木 康 志
関係診療科の副科長及び関係中央診療施設等の副部長 *第2号及び申合せ	循環器内科	若 槻 哲 三
	血液内科	藤 井 志 朗
	心臓血管外科	北 市 隆
	食道乳腺甲状腺外科	井 上 聖 也
	呼吸器外科	鳥 羽 博 明
	泌尿器科	高 橋 正 幸
	消化器・移植外科	森 根 裕 二
	小児外科・小児内視鏡外科	森 大 樹
	眼科	四 宮 加 容
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	佐 藤 豪
	整形外科	浜 田 大 輔
	皮膚科	村 尾 和 俊
	形成外科・美容外科	安 倍 吉 郎
	脳神経外科	島 田 健 司
	麻酔科	角 田 奈 美
	精神科神経科・心身症科	中 瀧 理 仁
	小児科	杉 本 真 弓
	産科婦人科	加 地 剛
	歯科口腔外科 (口腔内科)	桃 田 幸 弘
	歯科口腔外科 (口腔外科)	上 杉 篤 史
	歯科口腔外科 (歯科麻酔科)	高 石 和 美
	手術部	富 山 芳 信
	放射線部 *医科	音 見 暢 一
	放射線部 *歯科	前 田 直 輝
	救急集中治療科	板 垣 大 雅
	輸血・細胞治療部	曾 我 部 公 子
	安全管理部	大 坂 朱 美
	感染制御部	後 藤 さ お り
	物流センター	近 藤 武
副看護部長 *第3号		原 田 路 可
手術部看護師長 *第4号		藤 本 理 恵 子
物流センター副看護師長 *第4号		(兼任 原田 路可)
手術部副看護師長 *第5号		池 添 照 代
医事課 副課長 *第6号		藤 原 慶 一
ME管理センター臨床工学技士 *第7号		坂 東 直 紀

令和3年～令和6年度 手術室稼働率の推移(手術室数に対する稼働率)



手術室番号	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1-A	99.89%												99.89%
1-B													
2	83.29%												83.29%
3	82.71%												82.71%
4	71.96%												71.96%
5	77.05%												77.05%
6	91.00%												91.00%
7	92.96%												92.96%
8	72.65%												72.65%
9	90.13%												90.13%
10	59.42%												59.42%
11	44.96%												44.96%
12													
13	35.17%												35.17%
14	57.35%												57.35%
15	75.23%												75.23%
合計	73.84%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	73.84%

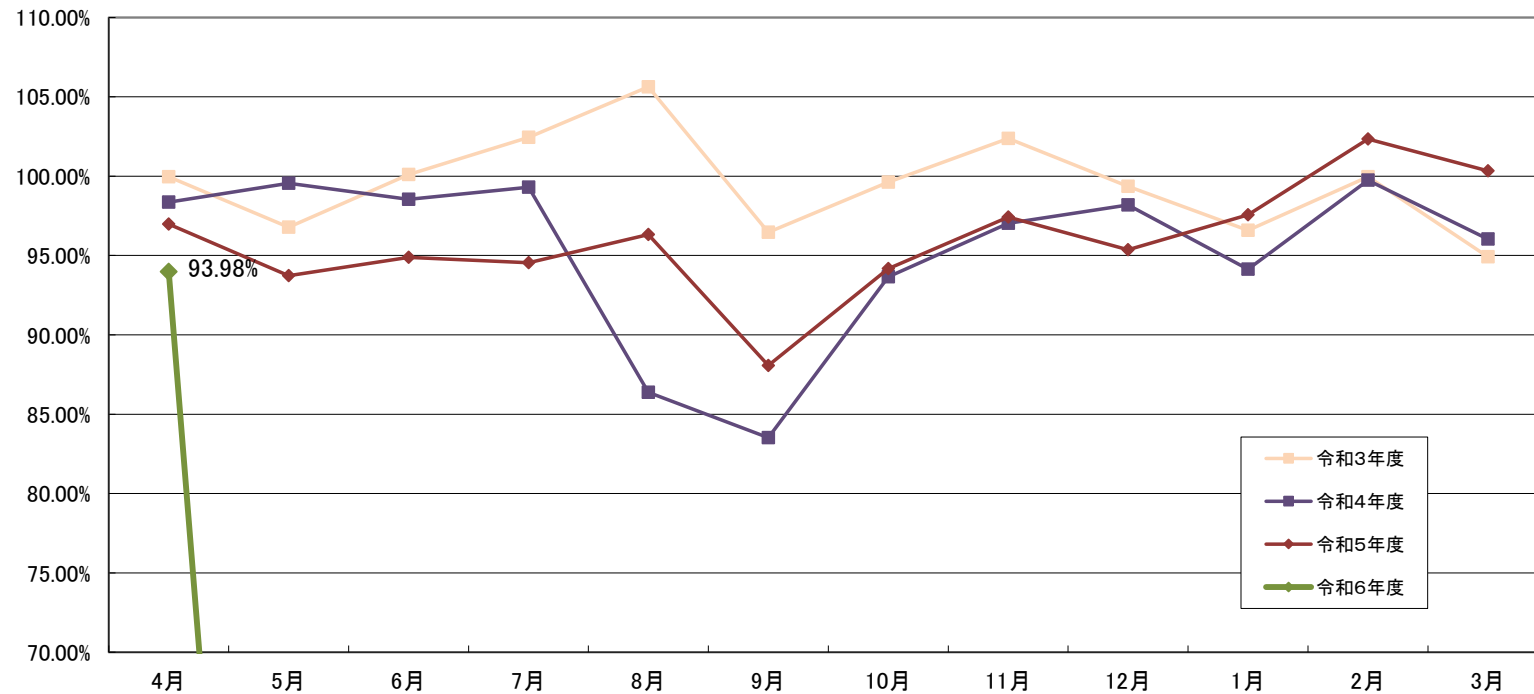
※H28.2から14室で算出

診療日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

1日当時間	8:00
-------	------

【計算式】 在室時間÷(8時間×診療日数×手術室数)

令和3年～令和6年度 手術室稼働率の推移(列数に対する稼働率)



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働率	93.98%												93.98%

※H28.2から11列で算出

診療日数	21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

1日当時間	8:00
-------	------

【計算式】 在室時間 ÷ (8時間 × 診療日数 × 列数)

2023年度各科月別件数

資料1-2

件数	4 月			5 月			6 月		
時間	合計	全麻	その他	合計	全麻	その他	合計	全麻	その他
消化器外科	60	59	1	0			0		
	231:35	230:43	0:52	0:00			0:00		
小児外科	11	11		0			0		
	25:12	25:12		0:00			0:00		
食乳甲外科	41	39	2	0			0		
	141:01	138:21	2:40	0:00			0:00		
呼吸器外科	20	20		0			0		
	64:12	64:12		0:00			0:00		
整形外科	59	42	17	0			0		
	189:33	151:49	37:44	0:00			0:00		
脳神経外科	45	38	7	0			0		
	204:57	193:02	11:55	0:00			0:00		
心臓血管外科	27	26	1	0			0		
	118:28	116:38	1:50	0:00			0:00		
泌尿器科	45	32	13	0			0		
	124:55	107:10	17:45	0:00			0:00		
眼科	120	23	97	0			0		
	145:07	49:12	95:55	0:00			0:00		
耳鼻咽喉科	40	40		0			0		
	127:10	127:10		0:00			0:00		
産科婦人科	62	40	22	0			0		
	186:39	148:15	38:24	0:00			0:00		
形成外科	36	17	19	0			0		
	82:58	53:14	29:44	0:00			0:00		
精神科神経科	9	9		0			0		
	3:13	3:13		0:00			0:00		
小児科	5	5		0			0		
	9:47	9:47		0:00			0:00		
麻酔科	0			0			0		
	0:00			0:00			0:00		
その他	8	8		0			0		
	16:00	16:00		0:00			0:00		
口腔内科	9	8	1	0			0		
	32:15	31:16	0:59	0:00			0:00		
口腔外科	23	15	8	0			0		
	59:52	47:39	12:13	0:00			0:00		
その他歯科	0			0			0		
	0:00			0:00			0:00		
	合計	全麻	局麻	合計	全麻	局麻	合計	全麻	局麻
医科 合計	588	409	179	0	0	0	0	0	0
	1670:47	1433:58	236:49	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
歯科 合計	32	23	9	0	0	0	0	0	0
	92:07	78:55	13:12	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
医科歯科合計	620	432	188	0	0	0	0	0	0
	1762:54	1512:53	250:01	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00

4月	2023年度	2024年度	前年同月差
総件数(件)	591(20日)	620(21日)	9件 増
総滞在時間(時間)	1714	1762	48 時間 増

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消化器外科	2022	49	54	55	48	44	46	49	51	54	46	50	54	600
	2023	63	54	57	48	61	53	61	61	49	49	54	53	663
	2024	60												60
小児外科	2022	12	15	17	18	27	14	10	13	18	18	9	19	190
	2023	8	9	10	12	25	8	12	19	20	22	14	18	177
	2024	11												11
食乳甲外科	2022	40	34	38	39	24	25	40	38	35	31	38	36	418
	2023	32	42	32	41	37	29	30	36	41	36	31	35	422
	2024	41												41
呼吸器外科	2022	27	22	20	19	17	18	22	21	18	22	22	19	247
	2023	18	26	17	24	22	19	23	25	34	22	17	23	270
	2024	20												20
整形外科	2022	63	47	72	76	62	65	58	65	75	58	59	74	774
	2023	55	42	69	44	73	62	48	66	57	65	54	63	698
	2024	59												59
脳神経外科	2022	34	34	43	33	27	27	36	45	34	36	39	28	416
	2023	32	37	37	28	38	38	38	30	34	42	37	38	429
	2024	45												45
心臓血管外科	2022	33	34	43	28	41	28	26	24	32	30	27	40	386
	2023	43	34	38	26	25	14	28	24	21	22	29	31	335
	2024	27												27
泌尿器科	2022	59	53	55	55	56	48	52	57	51	49	54	57	646
	2023	53	52	54	55	56	39	42	49	45	38	37	42	562
	2024	45												45
眼科	2022	96	95	101	113	90	76	84	103	93	94	104	107	1156
	2023	115	94	117	92	103	94	121	83	97	106	94	104	1220
	2024	120												120
耳鼻咽喉科	2022	29	30	36	30	37	23	34	37	34	24	31	41	386
	2023	30	26	29	36	39	27	27	33	33	32	36	40	388
	2024	40												40
産婦人科	2022	46	42	68	64	47	51	65	56	54	67	54	60	674
	2023	55	59	67	55	61	63	65	56	58	56	62	61	718
	2024	62												62
形成外科	2022	36	35	52	59	37	36	39	36	47	41	41	63	522
	2023	31	32	50	35	46	37	39	34	44	34	47	42	471
	2024	36												36
精神科神経科	2022	4	22	3	10	16	9	22	5	3	8	17	10	129
	2023	3	3	10	15	3	8	11	23	26	16	15	27	160
	2024	9												9
小児科	2022	4	6	5	8	9	6	6	6	8	4	6	10	78
	2023	7	6	11	6	10	7	4	10	5	3	5	2	76
	2024	5												5
麻酔科	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	2024	0												0
その他	2022	2	4	4	0	2	5	6	4	1	3	3	5	39
	2023	8	2	3	9	12	10	11	11	11	11	10	10	108
	2024	8												8

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口腔内科	2022	9	10	8	7	13	10	10	9	10	7	8	7	108
	2023	10	11	11	11	13	8	11	7	8	10	7	6	113
	2024	9												9
口腔外科	2022	27	25	31	26	29	19	22	26	21	20	19	26	291
	2023	28	27	33	26	27	17	24	30	22	15	26	25	300
	2024	23												23
その他歯科	2022	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2023	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	2024	0												0

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医科 合計	2022	534	527	612	600	536	477	549	561	557	531	554	623	6661
	2023	553	518	601	527	611	508	560	560	575	555	542	589	6699
	2024	588												588
歯科 合計	2022	36	35	39	33	42	29	32	35	31	27	27	33	399
	2023	38	38	44	37	40	25	36	37	30	25	33	31	414
	2024	32												32

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医科歯科合計	2022	570	562	651	633	578	506	581	596	588	558	581	656	7060
	2023	591	556	645	564	651	533	596	597	605	580	575	620	7113
	2024	620												620

時間差 2 時間以上

■時間差4時間以上

手術日	実施診療科1	手術 予定時間	手術所要 時間(1回目)	時間差	率 (%)	確定術式1
3月1日	食乳甲外科	10:00	12:27	2:27	25	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）
3月4日	泌尿器科	4:30	6:42	2:12	49	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
3月5日	脳神経外科	6:00	8:13	2:13	37	K169 頭蓋内腫瘍摘出術 2 その他のもの
3月5日	呼吸器外科	3:45	6:37	2:52	76	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術
3月7日	産科婦人科	2:00	4:36	2:36	130	骨盤リンパ節郭清術
3月8日	脳神経外科	3:00	6:12	3:12	107	減圧開頭術（その他）
3月11日	心臓血管外科	10:00	13:05	3:05	31	修正大血管転位症手術（根治術（ダブルスイッチ手術））
3月12日	産科婦人科	3:00	6:04	3:04	102	子宮附属器悪性腫瘍手術
3月12日	産科婦人科	2:00	4:23	2:23	119	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
3月14日	消化器外科	4:00	6:00	2:00	50	ロボット支援下肝切除
3月19日	呼吸器外科	1:30	3:57	2:27	163	気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術
3月26日	産科婦人科	2:00	4:12	2:12	110	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
3月27日	心臓血管外科	8:00	10:50	2:50	35	大動脈縮窄（離断）症手術（心室中隔欠損手術を伴う）
3月28日	産科婦人科	2:00	4:10	2:10	108	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
4月2日	産科婦人科	2:30	6:54	4:24	176	ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術（入院料含む）
4月4日	小児外科	4:00	7:30	3:30	88	開腹下胃捻転解除術・胃瘻造設術・胃固定術
4月4日	産科婦人科	2:30	5:40	3:10	127	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
4月5日	食乳甲外科	8:00	11:04	3:04	38	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）
4月8日	食乳甲外科	9:00	11:17	2:17	25	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 頸部、胸部、腹部の操作によるもの
4月16日	産科婦人科	2:30	4:46	2:16	91	ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術（入院料含む）
4月18日	産科婦人科	4:00	6:17	2:17	57	子宮悪性腫瘍手術
4月18日	消化器外科	4:00	8:52	4:52	122	ロボット支援下肝切除
4月20日	心臓血管外科	3:00	5:37	2:37	87	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）
4月23日	脳神経外科	6:00	8:21	2:21	39	K138 脊椎披裂手術 1 神経処置を伴うもの
4月24日	食乳甲外科	8:00	13:08	5:08	64	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）

2024年	3 月	4 月
2 時間以上	14 件	11 件
4 時間以上	0 件	3 件

時間差率 50%以上

■100%以上/ ■150%以上/ ■200%以上

手術日	実施 診療科1	手術 予定時間	手術所要時 (1回目)	時間差	率 (%)	確定術式1
3月4日	心臓血管外科	2:00	3:09	1:09	58	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）
3月5日	呼吸器外科	3:45	6:37	2:52	76	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術
3月6日	耳鼻咽喉科	1:00	1:39	0:39	65	内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型（下鼻甲介手術）
3月6日	整形外科	1:00	1:58	0:58	97	内視鏡下ヘルニア摘出術（P E D）
3月7日	産科婦人科	1:30	2:39	1:09	77	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡によるもの）
3月7日	産科婦人科	2:00	4:36	2:36	130	骨盤リンパ節郭清術
3月7日	産科婦人科	1:00	2:05	1:05	108	帝王切開術（選択帝王切開術）
3月8日	脳神経外科	3:00	6:12	3:12	107	減圧開頭術（その他）
3月8日	眼科	1:00	2:05	1:05	108	硝子体茎頭微鏡下離断術（網膜付着組織を含むもの）
3月11日	耳鼻咽喉科	2:00	3:24	1:24	70	鼓室開放術
3月12日	産科婦人科	3:00	6:04	3:04	102	子宮付属器悪性腫瘍手術
3月12日	産科婦人科	2:00	4:23	2:23	119	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
3月14日	消化器外科	4:00	6:00	2:00	50	ロボット支援下肝切除
3月14日	小児科	2:00	3:48	1:48	90	心臓カテーテル検査
3月14日	眼科	2:00	3:47	1:47	89	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 縫着レンズを片側挿入
3月19日	産科婦人科	2:30	3:50	1:20	53	ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術（入院料含む）
3月19日	呼吸器外科	1:30	3:57	2:27	163	気管支鏡下レーザー腫瘍焼灼術
3月19日	産科婦人科	0:30	1:52	1:22	273	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術
3月21日	産科婦人科	1:00	1:35	0:35	58	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡によるもの）
3月21日	産科婦人科	3:00	4:30	1:30	50	腹腔鏡下子宮筋腫核出術
3月22日	眼科	1:30	2:17	0:47	52	硝子体茎頭微鏡下離断術（網膜付着組織を含むもの）
3月26日	小児外科	1:00	1:41	0:41	68	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）
3月26日	産科婦人科	2:00	4:12	2:12	110	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
3月27日	整形外科	1:30	2:17	0:47	52	骨軟骨移植術
3月28日	産科婦人科	2:00	4:10	2:10	108	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
3月29日	形成外科	1:00	1:34	0:34	57	皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）：病巣部のみ切除
3月29日	形成外科	1:30	2:25	0:55	61	皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）：病巣部のみ切除
4月1日	眼科	0:45	1:26	0:41	91	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの（片側）
4月2日	産科婦人科	1:00	1:46	0:46	77	帝王切開術（緊急帝王切開術）
4月2日	産科婦人科	2:30	6:54	4:24	176	ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術（入院料含む）
4月2日	産科婦人科	1:00	1:44	0:44	73	子宮付属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡によるもの）
4月4日	小児外科	4:00	7:30	3:30	88	開腹下胃捻転解除術・胃瘻造設術・胃固定術
4月4日	産科婦人科	2:30	5:40	3:10	127	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
4月8日	耳鼻咽喉科	2:00	3:30	1:30	75	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）
4月9日	眼科	1:00	2:15	1:15	125	涙嚢摘出術
4月9日	眼科	1:30	2:21	0:51	57	眼窩骨折視血の手術（眼窩ブローアウト骨折手術を含む）
4月11日	循環器内科	1:00	1:32	0:32	53	TAVI
4月12日	眼科	0:45	1:26	0:41	91	緑内障手術 2.流出路再建術 イ眼内法
4月15日	耳鼻咽喉科	1:00	1:40	0:40	67	咽頭異物摘出術（複雑なもの）
4月15日	整形外科	1:00	1:38	0:38	63	内視鏡下ヘルニア摘出術（P E D）
4月16日	産科婦人科	2:30	4:46	2:16	91	ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術（入院料含む）
4月18日	産科婦人科	4:00	6:17	2:17	57	子宮悪性腫瘍手術
4月18日	消化器外科	4:00	8:52	4:52	122	ロボット支援下肝切除
4月18日	形成外科	1:00	1:33	0:33	55	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径2・－4・未満）
4月18日	産科婦人科	1:30	2:59	1:29	99	子宮脱手術（腔壁形成手術及び子宮全摘術）（腔式、腹式）
4月18日	産科婦人科	1:30	2:48	1:18	87	腹腔鏡下腔式子宮全摘術
4月18日	産科婦人科	0:30	0:49	0:19	63	子宮鏡下有茎粘膜下筋腫切出術、子宮内膜ポリープ切除術
4月20日	心臓血管外科	3:00	5:37	2:37	87	ステントグラフト内挿術（腹部大動脈）

手術日	実施 診療科1	手術 予定時間	手術所要時 (1回目)	時間差	率 (%)	確定術式1
4月22日	耳鼻咽喉科	1:30	2:45	1:15	83	口蓋扁桃手術（摘出）
4月23日	眼科	1:40	2:58	1:18	78	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの（両側）
4月24日	食乳甲外科	8:00	13:08	5:08	64	食道悪性腫瘍手術（単に切除のみ）（胸部食道）
4月24日	産科婦人科	1:00	1:38	0:38	63	帝王切開術（緊急帝王切開術）
4月24日	泌尿器科	0:30	1:04	0:34	113	経尿道的尿管ステント留置術
4月25日	消化器外科	3:00	4:45	1:45	58	ロボット支援腹腔鏡下直腸切除術
4月25日	産科婦人科	1:30	2:31	1:01	68	子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡によるもの）
4月30日	産科婦人科	2:30	4:23	1:53	75	ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術（入院料含む）
4月30日	眼科	0:45	1:12	0:27	60	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの（片側）

2024年	3月	4月
50%以上延長	27 件	30 件
100%以上延長	10 件	5 件
150%以上延長	2 件	1 件
200%以上延長	1 件	0 件

インプラントに関する手術看護記録についてのアンケート（集計結果）

（実施期間：2024 年 4 月 15 日～4 月 23 日）

1. 回答数

計 17 部署（全 27 部署）〈回答率 63.0%〉

No	診療科	回答	No	診療科	回答
1	循環器内科	○	15	小児科	○
2	血液内科	○	16	産科婦人科	○
3	心臓血管外科	○	17	口腔内科	○
4	呼吸器外科／食道乳腺甲状腺外科		18	口腔外科	
5	泌尿器科	○	19	歯科麻酔科	○
6	消化器・移植外科／ 小児外科・小児内視鏡外科	○	20	放射線部 *医科	
7	眼科	○	21	放射線部 *歯科	
8	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	○	22	救急集中治療科	
9	整形外科	○	23	輸血・細胞治療部	
10	皮膚科	○	24	安全管理部	
11	形成外科・美容外科	○	25	感染制御部	○
12	脳神経外科		26	物流センター	
13	麻酔科	○	27	ME 管理センター臨床工学技士	○
14	精神科神経科・心身症科				

2. インプラントを使用している。

	回答数（部署）	割合（%）
はい	9	52.9
いいえ	8	47.1

〈“はい”と回答した部署〉

- ・循環器内科
- ・心臓血管外科
- ・泌尿器科
- ・眼科（眼内レンズ、強膜バックリング用シリコーン、涙道チューブ、緑内障インプラント）
- ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科（人工内耳）
- ・整形外科
- ・形成外科・美容外科
- ・産科婦人科
- ・口腔内科

3. インプラントに問題等が生じた時の対応は確立していますか？

①埋め込み前の製品の不良によるもの等、と②埋め込み後の異常・保守によるもの等に分けてお答えください。

・循環器内科

当科では TAVI でインプラントを使用していますが、埋め込み前および埋め込み後共に不具合症例がないため、対応は確立しておりません。

・心臓血管外科

①埋め込み前の製品不良が発覚した場合は使用しません。

②埋め込み後に問題が生じた場合は、トラッキングシステムを利用して業者と連携し、埋め込み患者への連絡と埋め込み製品に対する対応を迅速に行います。

・泌尿器科

確立していない。

・眼科

①初期不良に対応するため、バックアップを手術室に準備。

②初期不良品については無償交換。

・耳鼻咽喉科・頭頸部外科

①人工内耳について、大島機械に対応してもらっている。

②人工内耳はコクレア社に対応してもらっている。中村言語聴覚士に連絡を取ってもらっている。

・整形外科

確立している。

・形成外科・美容外科

①新品に交換

②抜去＋（入れ替え）

・産科婦人科

①②ともに確率していないが、ロット番号を調べて対応となる。

・口腔内科

①②ともに、問題が製品を原因とするものか（欠陥など）、術者を原因とするものか（手技など）によって対応が異なる。前者の場合はメーカーまたは代理店に問い合わせる。後者の場合は安全対策室と協議する。

4. 上記の対応に看護記録を利用していますか？

	回答数（部署）	割合（％）
はい	5	29.4
いいえ	6	35.3
該当なし	6	35.3

〈“はい”と回答した部署〉

- ・循環器内科
- ・眼科
- ・形成外科・美容外科
- ・産科婦人科（これまで不具合はないが）
- ・口腔内科

〈“いいえ”と回答した部署〉

- ・血液内科
- ・心臓血管外科
- ・泌尿器科
- ・消化器・移植外科
- ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- ・整形外科

5. 手術に使用したインプラントに関する看護記録への記載は、看護上で必要となる内容のみの記載とし、規格やロット番号などの詳細な記載はしない、という運用にしてもよい。

	回答数（部署）	割合（％）
はい	9	52.9
いいえ	3	17.6
該当なし	5	29.4

〈“はい”と回答した部署〉

- ・循環器内科
- ・心臓血管外科
- ・泌尿器科
- ・消化器・移植外科
- ・眼科
- ・耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- ・整形外科
- ・感染制御部
- ・ME 管理センター

〈“いいえ”と回答した部署〉

- ・形成外科・美容外科
- ・産科婦人科
- ・口腔内科

6. その他ご意見があればご記入ください。

- ・心臓血管外科

上記運用で問題ありませんが、ロット番号シールなどを廃棄せず、確実に執刀医または主治医に渡すようにしていただきたい。時々、製品の箱と一緒に廃棄されていることがあるようです。

- ・形成外科・美容外科

インプラント類は色々使用していますが、乳房インプラントのみロット番号の記載を希望します。

- ・産科婦人科

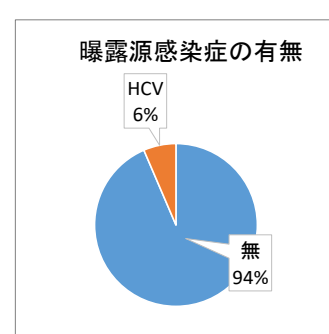
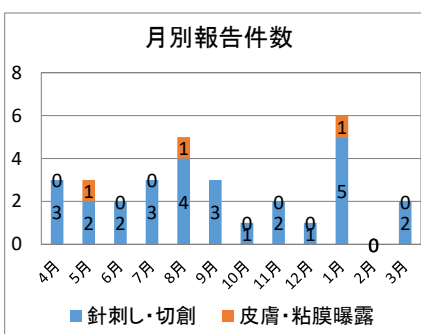
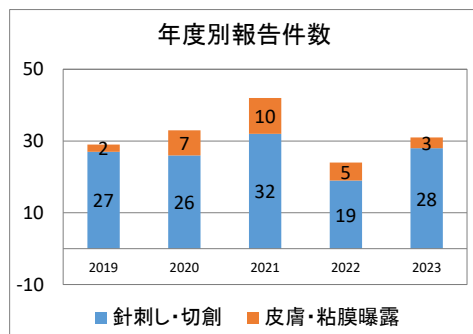
不具合が生じた際、どの患者に何を使用したか、ロット番号までわからないと困ります。種類とロット番号のわかるシールなどのスキャンをお手数ですが、患者ごとをお願いいたします。手書きの追加は不要です。何卒宜しくお願いいたします。

- ・口腔内科

安全管理上、医師と看護師の双方で記録を残しておいた方がよいと思います。

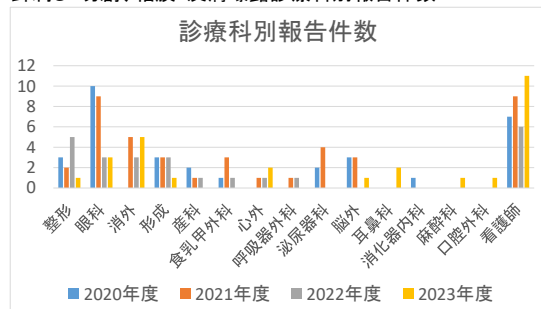
2023年度 針刺し・切創、皮膚・粘膜曝露報告まとめ(手術部)

1.発生状況



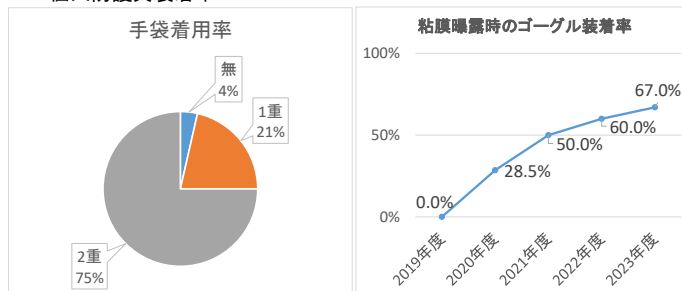
2023年度の手術部発生件数は、針刺し・切創28件、皮膚粘膜曝露3件であった。昨年度は報告数が減少したが、今年度は昨年度の総数から大幅に増加した。月別報告件数では、1月の6件の報告が最多であり、2月は0件が最少であった。その他は毎月1～2件の報告があった。曝露源の感染症は、HCV2件(全体の6%)であった。

2.針刺し・切創、粘膜・皮膚曝露診療科別報告件数



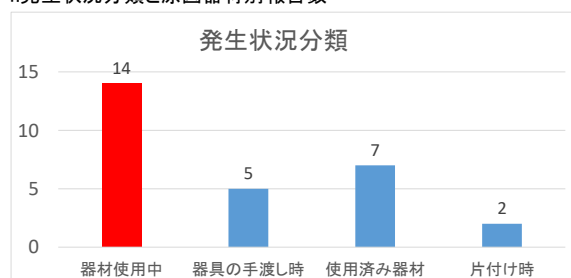
診療科別報告件数では、消化器外科が5件で最も多く、その他の診療科は0～3件であった。看護師は11件と過去4年間で最も多い件数となった。

3.個人防護具装着率

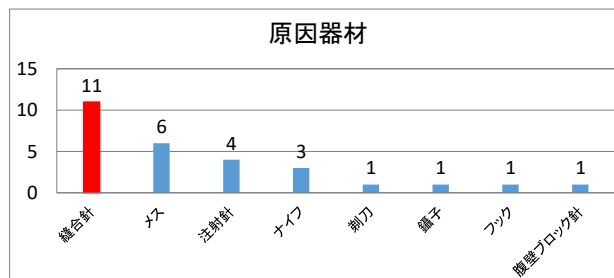


手袋着用率は96%で、「無」は4%(1件)のみであった。
2重手袋の着用率は、徐々に増加している。
粘膜曝露時のゴーグル着用率は67%であり徐々に増加しているが、100%には至っていない・またゴーグルの隙間から曝露する事例が発生している。

4.発生状況分類と原因器材別報告数

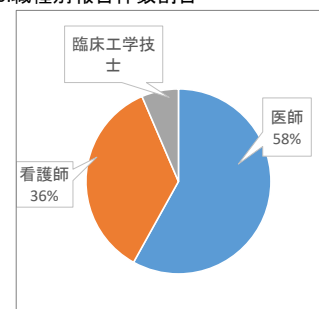


針刺し、切創の発生状況は器材使用中が14件と最も多く、次いで使用済み器材、器具の受け渡し時の受傷であった。



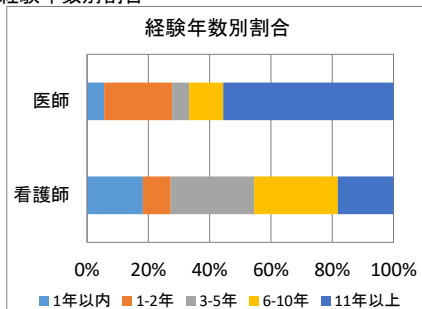
原因器材は縫合針が11件と最も多く、次いでメスであった。

5.職種別報告件数割合

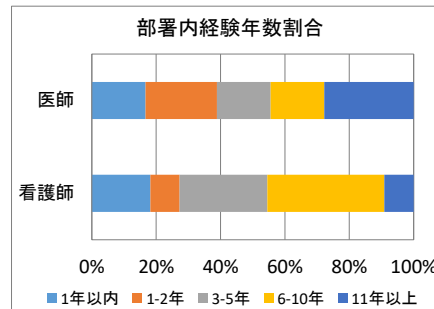


職種別報告件数割合は、医師が58%(18件)、看護師36%(11件)であった。MEによる針刺しが6%(2件)あった。

6.経験年数別割合



経験年数別割合では、医師は11年以上のベテランが多く、看護師は10年未満の若手から中堅に多い傾向であった。部署内経験年数では、医師・看護師ともに5年未満の若手スタッフが半数以上を占めていた。



7.考察・まとめ

2023年度の発生数は昨年度より大きく増加した。ゴーグル着用率は上昇しているが、不適切な装着による粘膜曝露事例が発生している。針刺し・切創の発生場面では、閉創中の縫合針での針刺しが最も多く、全体の約半数が自分以外の医療従事者が持っている鋭利な器材で針刺しが発生している。二人で同時縫合をしたり、器材を受け渡す場合は、不意に相手が動く場合があり、特にコミュニケーションを密にとる必要がある。事後の聞き取り面談では、「手術終盤で集中力が低下していた」「長時間の手術で疲労していた」などの要因が多く、手術終盤での針刺しが多いことを改めて注意喚起する必要がある。

8.今後の対策

- ・事後の聞き取り面談を継続し、当事者とともに再発予防策を検討する。
- ・フェイスシールドやゴーグルを正しく装着し、手術終了まで装着を継続するよう徹底する。
- ・鋭利な器材の受け渡し時や使用器材の片付けの際には特に注意し、お互いに声を掛け合う。
- ・閉創にとりかかる前に、針刺しに注意するようお互いに注意喚起する。